

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。

三重県衣料縫製工業組合 青年部 サンポウ会 会長 今村太一（いまむらたいち）氏



サンポウ会 会長 今村太一氏

当組合の組合員は主に婦人服を扱い、その他に、スポーツウェア、紳士服、子ども服、ベビー服等の衣料縫製品の生産加工を行っており、組合員23名のうち青年部であるサンポウ会会員は顧問を含めて7名です。

今年、サンポウ会会長に就任して3年目の今村太一氏は、有限会社山源縫製の3代目であり、ファッションの専門学校で学び、現在は取締役専務です。

同社では、最近、婦人服の技術を応用して伸びるメッシュ素材の生地で、飾りミシンによるステッチを施した寝具のマットレスカバーの生産にも力を入れています。

また、今村会長は、親会である三重県衣料縫製工業組合においては、副理事長、教宣委員会の委員長として組合運営や組合新聞の作成等にも尽力しています。

青年部では、毎年、企業視察を行っています。当初は、県内の同業種企業を視察していましたが最近は県外の企業や異業種の企業の視察も行っています。

滋賀県のダウンジャケット等を扱う企業を視察した際には、「同業種といえど、扱う商品が違っていると、同じミシンでも作業工程が全く異なる」と、とても新鮮に感じる事ができ、昨年度視察した県内の異業種企業では、様々な取り組みや新しいことへの挑戦、難しい課題への前向きな取り組み等について学ぶことができたそうです。

また、今村会長は、青年部の活動について、目標として掲げる「雇用の安定」「技術の高度化」「共同受注」を中心に検討し、親会や中央会との連携強化に努めて積極的に行動したいと考えています。

組合員の多くは外国人技能実習生の受入れを行い、中国、最近ではベトナム、インドネシア、スリランカ、バングラデシュからも受入れています。そして、今村会長企業では、技能実習生ばかりでなく、昨年は地元高校

生の職場体験を受入れ、日本人の雇用にも力を入れています。

「技術の高度化」では、当中央会が三重県地域事務局を担っている「平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」等を活用して新しい機械を導入する組合員もあり、新技術での商品開発等を行っています。

今村会長企業でも、当補助金を活用して生地を裁断する機械を導入し、新技術での販路拡大等に期待を寄せています。

これら情報提供には、組合事務局や青年部前会長からの勧め等があり、また、企業視察が“学び”だけでなく、青年部員間の連携強化、コミュニケーションの場にもなっているそうです。

更に、「共同受注」について、今村会長は、海外に頼っている生産工程を当組合で一気に引き受け、組合員が分担して生産する体制をつくりたいと考えています。そして、当組合で特色をもったオリジナルの製品をブランド化して、全国、そして世界に打ち出していきたい!と思いは広がります。

今村会長は、「組合員それぞれが持つ素晴らしい技術を活かした製品をつくり、“○○○といえば、三重のブランド”と言ってもらえるようなモノをつくりたい。」と話します。



企業視察